

自治体における取組事例(共同受注窓口の運営) 山口県宇部市

宇部市障害者就労支援ネットワーク会議

ポイント

- 宇部市障害者就労支援ネットワーク会議のワーキングチームが共同受注窓口を担い、受注した事業所からの手数料及び個人や企業からの応援寄付により運営している。
- 市と民間企業では、受注の流れが異なることから、それぞれ別に窓口となる事業所を設置している。

工夫点

- 宇部市役所はネットワーク会議における一委員として参画している。市は費用負担を行っていないが、事務局運営、会議室の提供、市のホームページへの情報掲載、市バスにおける広告掲載などを行っている。

共同受注の流れ

宇部市役所からの発注

- ① 庁内発注希望部署は、随時、市障害福祉課と発注内容とのマッチングについて相談を行い、窓口機能を担う事業所に発注内容を伝え、見積依頼書を提出する。
- ② 窓口事業所は市内の事業所に受注情報を提供し、各事業所は窓口事業所に見積書を提出する。
- ③ 窓口事業所から見積書の連絡を受けた庁内発注希望部署は、発注する事業所を決定する。
- ④ 受注した事業所は単独でまたは他の事業所と共同して受注し、物品等の提供を行う。

(参考) 宇部市の障害者就労施設等からの調達実績額

26年度 約3,410万円・公園維持管理業務
・給食配膳、弁当販売等

宇部市障害者就労支援ネットワーク会議の概要

- 宇部市における共同受注窓口は、平成19年に宇部市障害者就労支援ネットワーク会議が発足し、同会議の継続支援ワーキングチームにおいて平成21年から運営を開始した。
- 市からの依頼は、特定の事業所が窓口を担当。
- 民間企業からの依頼は、企業とのつながりが深い、障害者就業・生活支援センターが窓口を担い、各事業所との調整は、別のコーディネートをを行う事業所(各事業所が持ち回り)が担っている。
- 参加事業所：市からの発注18か所、民間企業からの発注15か所
- 運営費：受注金額の5% (市、民間企業共通)
- 民間企業からの受注実績額：約193万円(26年度)。主な受注内容は、草刈り、引越等の役務、弁当製造等

民間企業からの発注

- ① 発注を希望する企業は、窓口機能を担う障害者就業・生活支援センターに見積依頼書を提出する。
- ② 窓口となるセンターは受注事業所のコーディネートをを行う事業所に受注情報を提供し、同事業所が、各事業所と調整を行い、受注する事業所を決定する。
- ③ 受注した事業所は単独でまたは他の事業所と共同して受注し、物品等の提供を行う。